

東日本ユニオン よこはま

JR東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

2018年度 第1四半期決算発表

単体決算は増収減益。営業収益・運輸収入は7期連続の増収
四半期純利益が減益

第1四半期決算としては過去最高!!

JR東日本は、7月27日に「2018年度 第1四半期決算」を発表しました。単体決算は増収減益。営業収益・運輸収入は7期連続の増収かつ、第1四半期決算としては過去最高となり、ただし物件費等が増加したことなどにより、営業利益・経常利益が減益と、ポイント引当金繰入などにより特別損失が増加し、四半期純利益が減益となりました。連結決算は増収減益。営業収益は7期連続の増収かつ、第1四半期決算としては過去最高。また、営業利益が過去最高。経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は減益でした。内訳として運輸事業は、当社の運輸収入が定期外収入を中心に増加したものの、物件費等が増加したことなどにより、増収減益。流通・サービス事業は、東京駅等の店舗の売上が好調であったことなどにより、増収増益。不動産・ホテル事業は、「ペリエ千葉」、「ホテルメトロポリタン仙台イースト」の前年度開業に伴う増収効果などにより、増収増益。その他は、情報処理業や「インド国高速鉄道建設事業詳細設計調査」による売上増があったものの、物件費等が増加したことなどにより、増収減益と発表しました。

単体決算

(単位は億円)

科 目	2017年度 第1四半期決算	2018年度 第1四半期決算	増益金額	前年比 (%)
営業収益	5,134	5,187	52	101.0
運輸収入	4,519	4,561	42	100.9
営業利益	1,202	1,189	△13	98.9
経常利益	1,197	1,167	△29	97.5
四半期(当期)純利益	863	826	△37	95.7

単体では営業収益・運輸収入、連結では営業収益が第1四半期としては過去最高です。
2018年末手当要求満額獲得に向けて、今職場で何ができるかを考え行動しよう!!